表紙

品川区第三期データヘルス計画　品川区第四期国保基本健診等実施計画

令和６年度から令和１１年度　概要版

１ページ

１．計画の基本事項

データヘルス計画

国の指針に基づき、レセプト・健診情報等のデータの分析および加入者の健康保持増進のために策定する事業計画

国保基本健診等実施計画

高齢者の医療の確保に関する法律第19条に基づき、国保基本健診・国保保健指導の実施方法や目標値を定める計画

両計画を一体てきに策定する。計画期間は、令和６年度～令和１１年度の６年間とする。

なお、品川区では特定健康しんさを「国保基本健診」、特定保健指導を「国保保健指導」として実施している。

２．品川区国民健康保険の現状

基本情報

かっこ1　品川区の人口および国民健康保険人口・加入率

人口は、平成30年度から令和4年度にかけて増加傾向にある。一方で、品川区国民健康保険加入率は減少傾向となっている。

かっこ2　品川区国民健康保険の性年齢階級別内訳

令和4年度における性年齢階級別内訳では、男性・女性ともに70-74歳の人数が最も多くなっている。次いで、65-69歳となっており、内訳として前期高齢者人数が多いため、前期高齢者の生活状況や属性を考慮した上で、保健事業を組み立てることが必要である。

かっこ３　品川区国民健康保険加入者の死因割合比較

令和4年度の死因割合はがん、心臓病、脳疾患の順となっている。東京都と比較するとがん、自殺の割合が高くなっている。生活習慣病関連疾患の死因割合は東京都や国よりも低くなっている。

かっこ4　品川区国民健康保険の資格取得・喪失の要因

資格取得・喪失の理由をみると、最も大きな割合を占めるのは、いずれも社会保険関連であり、社会保険加入・離脱が、取得・喪失の最も大きな理由となっている。取得者数と喪失者数では、喪失者数のほうが多い状況が継続している。

医療費の概要

かっこ1　品川区国民健康保険の総医療費の推移

総医療費および加入者1人あたり医療費は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一時的に減少したが、その後、増加傾向になり、令和4年度では、総医療費229.3億円、加入者1人あたり医療費33.9万円となっている。

かっこ2　医療費に占める疾患群割合の推移

平成30年度（第二期データヘルス計画初年度）、令和2年（中間評価年度）、令和4年度の医療費を上位7疾患とその他に分けて医療費割合を見ると、総医療費に占める新生物医療費の割合が徐々に増加し、一方循環器系医療費の割合が徐々に減少してきている。

2ページ

３．データヘルス計画における全体目標・課題および優先対策・保健事業

全体目標

全体目標１「被保険者を含む区民の健康保持増進、生活の質（QOL）の維持向上」および全体目標２「予防的事業の運営、早期重症化対策等による効果的な医療費の給付」の２つを計画の全体目標とし、生活習慣病対策を推進する。

重点課題

重点課題を以下のとおりとする。

１つ目　健診受診の習慣づけ

２つ目　若年層リスク保持者へのアプローチ

３つ目　受診中断者・未受診者対策

４つ目　早期介入・対策による効果的な医療費の給付

優先対策と保健事業

重点課題を解決するための優先対策を　まる１健診受診率向上対策、まる２リスク保持者対策、まる３　重症化対策、まる４医療費適正化対策の４つとし、保健事業計画を作成する。主な新規・拡充事業を以下のとおりとする。

まる１　健診受診率向上対策

「出張！国保基本健診」の実施

健診受診率の低い地区を対象に、集団健診を実施する。また、保健指導対象者へ同日初回面談も実施する。

「こんにちは国保基本健診・お帰りなさい国保基本健診」の実施

40歳で初めて国保基本健診を受診した人、および未受診者勧奨通知対象者で受診した人へ、インセンティブを付与する　かっこ年度ごとにインセンティブ付与対象年齢を変えて実施する。

まる２　リスク保持者対策

「マチナカ・カラダ相談会」の実施

ショッピングモール、イベント会場とコラボし、日常生活のなかで保健指導を受けられるようにする。

「減量支援通知」の拡充

BMI25以下の腹囲リスク保持者　かっこ男性85ｃｍ以上、女性90ｃｍ以上へ、受診３カ月前を目途にパンフレットと通知文を送付し、生活改善のきっかけづくりとする。

「卒煙セミナー」の拡充

国保基本健診受診者における分析結果に基づき、喫煙率が高い若年層をターゲットに対象者を区民全体へ拡大し、禁煙の普及啓発を図る。

3ページ

まる３　重症化対策

「糖尿病性腎症重症化予防」の実施

令和6年度以降、詳細について検討する。

「重症化予防」の拡充

将来重症化が懸念される人へ生活習慣の改善を勧める保健指導を行う。

主治医との連携方法や対象者への周知など実施体制の見直しを行い、利用者の増加を図る。

まる４　医療費適正化対策

重複服薬たざい投薬・頻回受診者向け通知

重複服薬たざい投薬者および頻回受診者への通知を送付する。

ジェネリック医薬ひん通知の送付/ジェネリック医薬ひん利用促進キャンペーン

ジェネリック医薬ひんの利用を促進するため、「ジェネリック医薬ひん差額通知」を送付する。

また、普及啓発のため現在、区内イベントにて受診啓発を行っているキャラバン隊で、ジェネリック医薬ひん利用促進を行う。

４．国保基本健診等実施計画における目標値

国指針の参酌基準において、第四期実施計画の実行により令和11年度までに達成すべき目標は、特定健診の実施率60％、特定保健指導の実施率60％であるが、品川区の現状を踏まえ、国保基本健診受診率および国保保健指導利用率は以下のように定める。

国保基本健診受診率

令和6年度　40%

令和7年度　41%

令和8年度　42%

令和9年度　43%

令和10年度　44%

令和11年度　45%

国保保健指導利用率

令和6年度　13%

令和7年度　15%

令和8年度　17%

令和9年度　19%

令和10年度　21%

令和11年度　23%

５．その他

計画の評価

データヘルス計画については、品川区データヘルス計画評価委員会を設置し、関係機関と連携・協力して、ＰＤＣＡサイクルに沿った事業展開ができる体制を構築する。事業の評価は、KDBデータ等の健康・医療情報を活用して定量的に行い、費用対効果の観点も考慮する。また、個別の保健事業の評価は指標に基づき、年度ごと、中間評価　かっこ令和8年度、最終年度　かっこ令和11年度に効果や目標の達成状況を確認する。

国保基本健診等実施計画についても、データヘルス計画に合わせて計画の評価・見直しを実施する。